

公述人1 (会場②宇都宮市民プラザ)

那珂川水系河川整備計画(原案)に対する意見

那須烏山市下境 [REDACTED]、意見を述べる前に先の台風18号による大雨特別警報河川氾濫による被害に会われました多くの住民の方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、① 下境遊水地建設を急ぐ事を強く要望致します。

② 良質な米、野菜、その他、農作物を安心して作れない地域。

③ 住宅に関しては河川氾濫により安心して住めない地域。

④ 新規就農者が河川氾濫の可能性があるため東京近辺から家族連れが視察に来てても定着しない。

⑤ 申しますと、那須烏山市合併当時31,000人いた人口が減少が続き現在27,000人を割りそうな自治体の消滅危機にあると言っても過言ではありません。

私達の先人より那珂川の氾濫による水害被害は何回となく被害のくり返をしてまいりました、私達地域住民も昭和61年茂木町水害・平成10年那須水害・平成24年9月の台風による水害と最近3度も地域には大きな床上浸水を経験しております、那珂川は那須の源流に始まり那珂湊河口まで150kmになり上流より中流まで堤防も少ない、中・下流間はおおむね整備されているが河川近くに住む住宅地も多く水害にも合い大変苦勞をしている事でしょう、今回の鬼怒川氾濫にも見られるように中間地点の遊水地をもっと多く計画し水量の計算調整をしていただきたい、私達の地域も平成16年ごろ地域一丸となり築堤防設置を市町を通し要望を致しました。その中で遊水地方式があることが分かりました、下館市(母子島遊水地)も見て参りました。50年に一度、100年に一度の大雨による河川氾濫・水害に伴う住宅浸水の被害今すぐにも来るかも知れません、終わりに、一日も早く現地視察をし早めの計画実行を強く要望します。